

授業科目名	高齢者ケアリング学演習1 (Gerontological Nursing and Caring Seminar I)	科目番号	02EU300
単位数	3単位	担当教員	松田ひとみ(D721) 岡本紀子(4B410)
授業時間	通年・応談	研究室	総合D310
科目の種類	演習	電話 又は メールアドレス	3442(松田) 3405(岡本)
標準履修年次	1-3年	オフィスアワー	随時(メールで予定を確認 のうえ、訪問すること)

**授業の到達目標** 現代日本の高齢者の心身・社会的機能とその特徴を理解するために、生理学的指標と既存の測定尺度を用いた演習を通して、健康生活上のニーズを評価する方法(理論と実際)を学ぶ。

**授業の概要** 高齢者のニーズを評価する方法について、文献の検討によりその適用可能性を議論する。さらに具体的な方法について、事例を想定し測定器具を用いたトレーニングを行い、精度管理とともに評価の妥当性について議論する。

**テキスト** 随時紹介する

**参考図書** 随時紹介する

**成績評価の方法** 事前学習、プレゼンテーション、測定機器の扱い、事例の展開と討議内容により評価する

## 授業計画

回	担当教員	授業内容
1-2	松田ひとみ 岡本紀子	オリエンテーション
3-5	松田ひとみ 岡本紀子	発表と討議(高齢者の心身・社会学的な特徴)
6-12	松田ひとみ 岡本紀子	発表と討議(睡眠覚醒リズムの測定・評価法)
13-19	松田ひとみ 岡本紀子	発表と討議(感覚機能の測定・評価法)
20-26	松田ひとみ 岡本紀子	発表と討議(自律神経機能の測定・評価法)
27-30	松田ひとみ 岡本紀子	発表と討議(測定器具の扱い・事例検討・まとめ)

授業科目名	高齢者ケアリング学演習2 Gerontological Nursing and Caring Seminar 2	科目番号	02EU301
単位数	3単位	担当教員	橋爪祐美(D420) 岡本紀子(4B410)
授業時間	通年・応談	研究室	総合D310
科目の種類	演習	電話 又は メールアドレス	3986(橋爪) 3405(岡本)
標準履修年次	1-3年	オフィスアワー	随時(メールで予定を確認 のうえ、訪問すること)

**授業の到達目標** 内外の文献クリティークを通して、複雑な健康問題を抱える高齢者の家族への専門的な支援、ケアのための理論を学ぶ。高齢者と家族の健康生活や、家族が抱える問題解決に貢献する専門職による支援やケアの評価の視点と、支援やケアの構築に必要な要素を見出す研究手法を学ぶ。

**授業の概要** 学生の高齢者の家族に対するケアニーズおよび、専門職によるケアに関する研究の課題設定および先行研究の評価・検討に関する議論、質的研究手法の演習を行う。

**テキスト** 随時紹介する

**参考図書** 随時紹介する

**成績評価の方法** 事前学習、プレゼンテーション、測定尺度を用いた面接・半構造化面接法による調査の実際、質的研究データ分析に関する討議内容により評価する

## 授業計画

回	担当教員	授業内容
1-2	橋爪祐美 岡本紀子	オリエンテーション
3-5	橋爪祐美 岡本紀子	発表と討議(高齢者の健康問題、認知症)
6-12	橋爪祐美 岡本紀子	発表と討議(高齢者を介護する家族の現状)
13-19	橋爪祐美 岡本紀子	発表と討議(心理社会的要因を把握する測定尺度、質的研究法)
20-26	橋爪祐美 岡本紀子	発表と討議(勤労女性介護者における精神的負担に関する研究)
27-30	橋爪祐美 岡本紀子	発表と討議(半構造化面接の検討・実践・まとめ)

<b>授業科目名</b>	認知症ケアリング学演習1 Seminar of Gerontological Nursing and Caring for elderly people with dementia I	<b>科目番号</b>	02EU302
<b>単位数</b>	3単位	<b>担当教員</b>	松田ひとみ(D721) 岡本紀子(4B410)
<b>授業時間</b>	通年・応談	<b>研究室</b>	総合D310
<b>科目の種類</b>	演習	<b>電話 又は メールアドレス</b>	3442(松田) 3405(岡本)
<b>標準履修年次</b>	1-3年	<b>オフィスアワー</b>	随時(メールで予定を確認 のうえ、訪問すること)

**授業の到達目標** 高齢者保健福祉政策と認知症看護ケアの実際を学び、人権の尊重と人権擁護の観点から諸制度とケアの実情を分析し、問題点と今後の課題を明らかにすることができる。

**授業の概要** 高齢者看護ケア・保健医療福祉制度の現状を明らかにする。認知症高齢者の心身・社会的機能を総合的に評価し、生活リズムの調整(介入)による効果の検討のための演習を行う。人権を阻害される場面として虐待を想定し、ケア担当者の倫理観と行動を育成するための方法を検討する。

**テキスト** 随時紹介する

**参考図書** 随時紹介する

**成績評価の方法** 事前学習、プレゼンテーション、事例の展開と討議内容により評価する  
教材・参考文献・配布資料等:随時紹介する

## 授業計画

回	担当教員	授業内容
1-2	松田ひとみ 岡本紀子	オリエンテーション
3-5	松田ひとみ 岡本紀子	発表と討議(認知症高齢者の心身、社会的機能の理解)
6-12	松田ひとみ 岡本紀子	発表と討議(認知症高齢者の現状:日本と諸外国の比較)
13-19	松田ひとみ 岡本紀子	発表と討議(精神機能、生活機能、生活リズムの測定と評価法)
20-26	松田ひとみ 岡本紀子	発表と討議(生活プログラムの構築・介入と評価)
27-30	松田ひとみ 岡本紀子	発表と討議(事例検討:虐待)

授業科目名	認知症ケアリング学演習2 Seminar of Gerontological Nursing and Caring for elderly people with dementia II	科目番号	02EU303
単位数	3単位	担当教員	橋爪祐美(D420) 岡本紀子(4B410)
授業時間	通年・応談	研究室	総合D310
科目の種類	演習	電話 又は メールアドレス	3986(橋爪) 3405(岡本)
標準履修年次	1-3年	オフィスアワー	随時(メールで予定を確認 のうえ、訪問すること)

**授業の到達目標** 病院・施設・在宅における認知症の高齢者と家族に関する専門的ケアの理論と実際について学ぶ。

**授業の概要** 高齢者のセルフケアに関わる指導および、生活環境調査や生活活動調査に関する実践・相談・教育方法について学ぶ。介護する家族の問題解決に関する実践・相談・教育方法について学ぶ。

**テキスト** 随時紹介する

**参考図書** 随時紹介する

**成績評価の方法** 事前学習、プレゼンテーション、事例の展開と討議内容により評価する

## 授業計画

回	担当教員	授業内容
1-2	橋爪祐美 岡本紀子	オリエンテーション
3-5	橋爪祐美 岡本紀子	発表と討議(認知症高齢者と家族ケアモデルの概観)
6-12	橋爪祐美 岡本紀子	発表と討議(認知症高齢者のアセスメント)
13-19	橋爪祐美 岡本紀子	発表と討議(認知症高齢者のアクティビティ・ケア)
20-26	橋爪祐美 岡本紀子	発表と討議(認知症高齢者の家族ケアと倫理的課題)
27-30	橋爪祐美 岡本紀子	発表と討議(フィールド・ワークによる事例検討)

授業科目名	高齢者ケアリング学特別研究 Gerontological Nursing and Caring Research	科目番号	02EU305
単位数	3単位	担当教員	松田ひとみ(D721) 橋爪祐美(D420) 岡本紀子(4B410)
授業時間	通年・応談	研究室	総合D310
科目の種類	演習	電話 又は メールアドレス	3442(松田)3986(橋爪) 3405(岡本)
標準履修年次	2-3年	オフィスアワー	随時(メールで予定を確認 のうえ、訪問すること)

**授業の到達目標** 高齢者と家族の幸福と健康生活の向上を意図した専門的ケアの構築に寄与する研究として、研究計画に基づき新規性のある研究結果を導き、これを報告する過程を学ぶ。

**授業の概要** 各研究課題に適した理論的な枠組み、概念、変数を整理し、仮説検証型量的研究手法、質的研究手法、ミックス法を学ぶ。概念分析、システマティックレビューを通して先行研究をクリティークし、自己の研究課題の独創性、新規性を明らかにする。倫理審査申請手続きを経て、研究計画に沿って実践する。結果は調査協力者へのフィードバック、学会発表での発表、学術誌への投稿を通して評価を受け、社会貢献を目指す。

**テキスト** 随時紹介する

**参考図書** 随時紹介する

**成績評価の方法** 文献クリティーク、研究経過報告等に関するプレゼンテーション、フィールドワーク、学会報告、投稿論文に関する報告により評価する

## 授業計画

回	担当教員	授業内容
1-2	松田ひとみ 橋爪祐美 岡本紀子	サブストラクション、APAの文献クリティーク、ref for windows
3-5	松田ひとみ 橋爪祐美 岡本紀子	文献クリティーク、概念分析、システマティックレビュー
6-12	松田ひとみ 橋爪祐美 岡本紀子	発表と討議(研究計画書、研究倫理審査申請)
13-19	松田ひとみ 橋爪祐美 岡本紀子	発表と討議(フィールドワーク、研究経過報告1)
20-26	松田ひとみ 橋爪祐美 岡本紀子	発表と討議(フィールドワーク、研究経過報告2)
27-30	松田ひとみ 橋爪祐美 岡本紀子	発表と討議(投稿論文作成)